

【学生・保護者・教職員の皆様へ】

乗船実習における新型コロナウイルス対策について【第6版】

R3年5月6日

首都圏を含め鹿児島でも新型コロナウイルス感染者が発生する状況が続きます。乗船実習において感染を広げないための方策、さらに万が一乗船中に体調不良者が発生した場合の船舶運航についてお知らせします。

乗船実習の実施について

鹿児島県内の感染状況、多くの感染経路不明者の存在等により航海中止もあり得る

乗船実習前

- ① 緊急事態宣言発令地域及び感染拡大地域はもちろん他県等への移動について、不要不急の旅行や帰省等については、強く自粛を要請します
- ② 乗船者に対し乗船日2週間前より健康・行動チェックを実施する
※ 別紙「乗船前の健康・行動観察問診票」を参照
- ③ 乗船者へ実習に対する注意事項を配布
※ 別紙「感染拡大防止のため乗船するにあたり…」・「日本国内の発生状況」を参照
- ④ 乗船者数を制限する かごしま丸 24名（定員44名）
南星丸 8名（定員16名）
- ⑤ 乗船2週間前からコンパ等(歓迎会含む)及びカラオケは禁止する。閉鎖した密閉空間、密集する機会、会話や発声など密接な交流を避けること。

乗船時

- ① 健康・行動チェック「乗船前の健康・行動観察問診票」の提出
- ② 提出された問診票に沿って体調確認、不調が認められる場合乗船を許可しない
- ③ 非接触型の体温計による体温測定
- ④ 発熱が認められた場合、実測式体温計による再測定を行い37.5度以上の場合、乗船を許可しない
- ⑤ 船上で手の消毒（手洗い）を行ったのち、マスクを着用して船内に入る

航海中

- ・実習、食事、就寝その他全般で三密を避ける方策を取る
- ・船上の手すり、ドアノブなど頻繁に消毒を行う
- ・こまめな手洗いや手指消毒を行う
- ・乗船中は原則マスクを着用する
- ・毎日の検温・体調チェックを実施

体調不良者 ・なし → 予定に沿って乗船実習を実施する

・あり → 船内隔離の後、水産学部・保健管理センター・医歯学総合研究科西順一郎教授へ連絡

↓

保険管理センターや西順一郎教授の指示を仰ぎ、帰港または緊急入港を検討する

↓

港到着後は水産学部や保健所等の指示に従って行動